

■ 今後の予定

令和3年度以降については、これまでのご意見や取り組み等を踏まえて、街づくりに必要なルール・制度について具体的な検討を進めていきます。(懇談会等の開催にあわせて通信も発行予定です。)

太子堂五丁目・若林二丁目地区の街づくりの検討フロー

年度	日程	実施内容
令和元年度 ・街づくりの検討着手 ・現状の整理	10～11月	街づくりアンケート、街づくり講演会
	1月19日(日)	まち歩き これから地区のみなさんと街づくりの検討を続けていきます!
令和2年度 ・街づくりの具体的な課題 ・方向性に関するテーマ別検討	7～8月	まちなか写真館&スタンプラリー
	9月19日(土)	オープンハウス
	12月6日(日)	フィールドワーク(道路・交通)
	19日(土)	フィールドワーク(防災)
	3月6日(土)	街づくり懇談会 <input type="checkbox"/> 地区の将来の姿とその実現方法のイメージを共有
今回 詳細は1ページ		
令和3年度以降 ・街づくりのルール・制度の具体的な検討	-----	まち歩き、懇談会、説明会等 令和3年度は4回程度開催予定 <input type="checkbox"/> 街づくりのルール・制度を具体的に作っていく <input type="checkbox"/> 計画等のたたき台を作る
	-----	説明会 都市計画・条例等手続き <input type="checkbox"/> 地区計画・地区街づくり計画等策定
目指す将来像の実現に向けた取り組みに着手		

■ 新型コロナウイルス感染症対策

参加者の皆さんが安心して参加できるよう、会場では以下の対策を実施します。

- ① 室内の換気
- ② 物品等の消毒の徹底
- ③ 手指の消毒及びマスク着用
- ④ 入場時の検温の実施
- ⑤ 机・座席の消毒、座席間の空間の確保
- ⑥ 参加者の氏名・体温の記録
- ⑦ 収容人数の制限

問い合わせ先(懇談会の参加申し込み、ご意見・お問い合わせはこちらまで)

世田谷区世田谷総合支所街づくり課 担当: 高橋、雄勝、杉本、高澤
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-22-33 電話 03-5432-2872(直通)
FAX 03-5432-3055 メール SEA02202@mb.city.setagaya.tokyo.jp (右上の二次元コードから送付できます)

この地区の街づくりに関する意見募集

ご意見は、郵便、メール、FAXでお受けします。上記の問い合わせ先まで「ご意見」「お名前」「ご連絡先」をご記入の上お送りください。懇談会等で使用した資料は開催後に下記の区ホームページに掲載します。ご意見を書く際の参考としてください。

過去の通信や街づくりの検討資料等は区のホームページでご覧いただけます

太子堂五丁目・若林二丁目 検索 <https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/003/002/001/d00181812.html>

この通信は対象区域にお住まいの方、土地・建物所有者の方に世田谷区からお届けしています。



太子堂五丁目・若林二丁目地区 街づくり通信

【発行: 世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課 令和3年2月】 第7号

世田谷区では、地区の街づくりの将来について皆さんと一緒に考える取り組みを進めています。去る令和2年12月には「フィールドワーク」を開催し、6日(日)は道路・交通、19日(土)は防災について、それぞれの問題点や今後の方向性についてご意見を伺いました。当日の様子や寄せられた意見は2ページに掲載しています。あわせてご覧ください。

今回は、地区の街づくりに関するルールづくりについて話し合う「街づくり懇談会」を3月に開催しますので、ぜひご参加ください。

「街づくり懇談会」を開催します!

テーマ 街づくりのルールを考えよう

日時 令和3年 3月6日(土)
午後2時～午後4時まで

内容 これまでの取り組みやご意見等を振り返りつつ、この地区の将来や今後取組んでいく街づくりのルールについて考えます。前回に引き続き、杉崎教授にもご参加いただきます。

<プログラム>

- 1 今までの振り返りと事例紹介
- 2 意見交換
 - ① テーマ別の今後の方向性と取り組みのアイデア
 - ② この街の将来の姿



杉崎和久
法政大学教授

道路・公園などの整備の方向性を考えていくよ!

建築物等のルールづくりがはじまるよ!



申込

- ・事前申込制です。(先着順で定員になり次第受付を締め切ります。ただし、空きがある場合は、当日参加も可能です) 3月4日(木)までに世田谷総合支所街づくり課まで電話、メール、FAXでご連絡ください(4ページ参照)。
- ・申込の際は、「参加者全員の氏名」、「住所」、「電話番号」をお知らせください。
- ・参加にあたって配慮が必要な方は申込み時にお知らせください。

参加の際の注意事項とお願い

- ・来場時のマスク着用にご協力ください。
- ・当日、熱や咳などで体調のすぐれない方は来場をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、来場時に体温・氏名等の記入をお願いします。

当日参加できない方の意見募集

- ・郵便、メール、FAXにてご意見を受け付けます(4ページ参照)。

会場 若林まちづくりセンター 3階 活動フロア
(世田谷区若林 1-34-2)



初めての方も気軽に参加してください!

※荒天や新型コロナウイルス感染症の影響等で急遽中止する場合は、区のホームページ(問い合わせ先参照)でお知らせします。

「フィールドワーク」を開催しました！ 於：太子堂小学校体育館

フィールドワークは、地区の皆さんの関心の高い「道路・交通」と「防災」という2つのテーマを設定し、実際に街を歩いてもらいながら、地区の課題や将来あるべき姿を参加者と考えました。全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者数が増えている状況ということもあり、参加者は少数でしたが、熱心な意見交換が行われ、充実した時間を過ごすことができました。

プログラム

情報提供

テーマに関する問題の背景や、周辺地区の事例を共有しました。

フィールドワーク

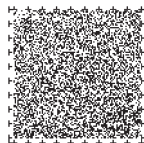
グループに分かれて、1時間程、テーマに沿った視点をもって現地を調べました。

意見交換

情報提供やフィールドワークを踏まえて、地区の将来の姿について、意見交換をしました。

まとめ

意見交換の結果を発表し、杉崎先生から講評をいただきました。



道路・交通 ～普段も緊急時も安心して使える道づくり～

【日時】令和2年12月6日(日) 午後1時30分～4時30分 【参加者】7名

不満に感じること ・通行しづらさ ・道路の安全・安心への不安

問題の背景

- ・道路が狭い
- ・道路の形が不整形
- ・私道や行き止まり路が多い

改善事例の紹介

- ・つながりを良くする(拡幅、行き止まりの解消等)
- ・空間を確保する(道路周辺の空間確保等)
- ・使い方を工夫する(交通標識・規制の改善等)

道路・交通や防災の改善を進めることは難しい！
だからこそ問題解決の方向性を共有できる「計画」を持つことが重要！

歩幅を使って道路の幅を測りました



救急車や消防車が通行できるか実験しました



道路を考えるときの視点

- ・住宅地で生活する人が中心のまちであり、通り抜けの場所ではない。通り抜けができる4m道路ができて、節度のある利用がされているのであれば良いのではないかと。
- ・将来は車がいない社会になるかもしれない。将来を見据えた新しい視点で街づくりを考えたい。
- ・道を広げるなどハード面の改善はなかなか難しい。安全性の向上や緊急時の対応についてソフト面からも改善できると良い。



全体発表の様子

- ・将来については、短期・中期・長期と時間軸を分けて考えると良いのでは。時間で分けるとできる対策も変わってくる。
- ・世代によって道路の使い方や求めるものが違うので、世代間等の視点の違いを大事にしてほしい。

道路の幅や形を改善したい

- ・救急車は遠回りしないと家の前まで来られないので、道は広くしたい。
- ・見通しが悪い道路が多すぎる。大掛かりな改善は望まないが要所での改善は必要だ。
- ・防災のためにブロック塀のない街が良い。

自転車マナーについて

- ・淡島通り沿いに自転車が駐輪されている。
- ・放置自転車がため、自転車駐輪場を作っても良いのではないかと。

杉崎先生からの講評



この地区の良さは、広い道路ができることではなく、狭いながらも住む人にとっては住みやすいことかもしれません。今日のフィールドワークで、道が整備されるという課題を解決すると車がスピードを出して侵入してくるという新しい課題が出てくることを体感できたのではないのでしょうか。今ある道路をどう使いこなすのか、交通安全のためのルールを決めるなど具体的な検討をする時に大事な観点になると思います。次年度以降は課題の解決策を考えながら、解決した課題の後に出てくる新たな課題をどう解決するのか、じっくり話ができると良いですね。(道路・交通の会にて)

防災 ～安心して住み続けるための環境づくり～

【日時】令和2年12月19日(土) 午後1時30分～4時30分 【参加者】7名

不満に感じること ・火災、震災、水害等に対する不安 ・緊急時の行動や避難に対する不安

問題の背景

- ・密集市街地である
- ・耐火建物の少なさ
- ・空地の少なさ
- ・古い建物の多さ
- ・道路の狭さ

改善事例の紹介

- ・建物の防災性を高める(耐震化、不燃化、浸水対策)
- ・道路とその沿道の防災性を高める(道路の適正配置、ブロック塀等の規制等)
- ・空間を確保して防災性を高める(公園・広場等の確保、隣棟間隔の確保)
- ・地域主体で防災性を高める(意識啓発・防災活動の展開)

消火栓を実際に開けてスタンドパイプを設置しました

スタンドパイプ：誰でも使える初期消火資器材のひとつ



道路とその周辺の防災対策

- ・延焼を遅らせるために、道路を広げられるなら広げた方が良い。
- ・延焼防止のために建物の壁面を下げて道路沿道の空間を取ることは良い。
- ・危ない塀は直したい。専門家と一緒に塀を点検すると良いのではないかと。



意見交換(グループ検討)の様子

行き止まり路の改善

- ・緊急時には隣の庭を通らせてもらえるような方法も良い。道路を作るだけでなく、ちょっとしたことでも改善できるということを伝えていきたい。
- ・強制的ではなく、話し合いを重ねて徐々に改善できると良い。
- ・今日紹介があった区の助成制度のような情報があると地域の人とも話がしやすい。

延焼防止

- ・延焼シミュレーションにあったように消防車が来なければこの地域も延焼する恐れがある。今回のようなスタンドパイプ体験が共助のきっかけになると良い。

地域とのつながりをつくる・参加者を増やす

- ・地域の人にもっと街づくりに参加してもらいたい。
- ・いきなり地域の人に声をかけていくのは難しい。地域の方との話のきっかけに、集めたデータや事例を使っていけると良いのではないかと。

